

皐月愛南文芸

内海俳句会

まだ生きていたかと亀に鳴かれけり
 朝寝して遺影の夫ににらまれぬ
 忘却の彼方え薄れ春の虹
 万緑に覆われし峡の黙ふかし

太田 信子

岩森十志子

初蝶や風の素通りせしあとに
 野遊びの子らを遠目に母の在り

吉田モミエ
 井上 諭夫

みなみうわ俳句会

春の雲川面に映し流れゆく
 合掌をとき白木蓮のいま開く
 空白のような一年三月来
 石籬にそつと一句を添えてあり
 鞆鞆撤去空蹴る術を失ひき

竹村 勝利

濱 初榮

木村 智子

清水 麗子

中川千代子

檳榔子俳句会

うぐいす餅草食男子一口に
 朱の盆の鶯餅に指の跡
 初蝶に生きる気魄の備はりて
 三・一一の重き十年祈りあり
 野遊びや記憶たぐりし母の味
 野遊びのママからパパへ子を渡す
 野遊びや地球離れる戯れも
 初蝶や思ひ出せない字のひとつ

泉 くらら

五島 節子

山口 和子

吉田 朝子

山口 董

濱野 康子

田中 博子

三好ミキエ

西海俳句会

桜咲く我誕生日幸せに
 行商の若き日思い冬ごもる
 足悪い我を気づかい石路くれる
 醉漢も下戸も黙して花吹雪
 雛飾り帰らぬ人を待つており

吉田 笑代

浜木チズエ

利根早智江

吉田 勝也

吉田 弘定

▶歌人をご紹介します

さわらび短歌会 岩村千代子さん(小山)

「短歌が好き」軽い気持ちで作歌を始めました。私の住む地区にさわらび短歌会の蕨岡文枝さんがいました。蕨岡さんに勧められ入会したのが、昭和37年ごろだったと思います。

当時の指導者は入多泰先生でした。その後、橋本俊夫先生、吉田信保先生、前田充先生にご指導いただき、今日に至っています。素晴らしい先生に恵まれ幸せでした。そして順境の日も逆境の時も、決して手を放さず支えてくださった会員の皆さまにも心から感謝しております。



私の短歌歴もかれこれ六十年近くなりました。もし誰かにあなたにとって短歌とは何ですかと聞かれたら、「生きた証です」と答えます。さわらびで私が一番の年長です。人生百年時代、私にまだ少し未来があれば、四季の移ろいを歌に紡ぎながら、謙虚に生きたいと思います。

はじめまして。赤ちゃん。

ご冥福をお祈りします。